



初優勝をした厳原陸上クラブ

県小学生クラブ対抗駅伝 初V 厳原陸上クラブ

準優勝 久田陸上クラブ

1月10日、諫早市で開催された第10回県小学生クラブ対抗駅伝で、厳原陸上クラブが初優勝を飾りました。

大会は、6区間（各1.5キロ）で争われ、42チームが出場、厳原陸上クラブは1区の大浦瑞季さんが3位と好スタートを切り、2区阿比留仁虎くんで先頭に立つと、その後も安定した走りを見せ、首位を奪われることなく、追い上げる久田陸上クラブを振り切りました。久田陸上クラブは、4区三浦健太くん、5区松原由希さんが区間賞を記録し、大会3連覇の夢を6区に繋ぎ、長瀬智彦くんも区間賞

を取る力走を見せましたが、僅か26秒差で惜しくも準優勝となりました。また、鶏鳴陸上クラブも6位に入賞する活躍をし、つしまつ子の駅伝レベルの高さがうかがえました。

優勝した厳原陸上クラブは、3月21、22日に大阪で開催される全国大会に県代表として出場します。

一万本が集結した 力作アートを発見



題名「浅茅湾の光2008」

加志々中学校に展示されているこの絵は、同校卒業生（平成19年度卒）8人が「つまようじ点描画」に取り組んだ作品です。

縦92.5cm、横183cmの発砲スチール板に、一万本の「つまようじ」を1cm間隔に刺し制作したものです。

学校から臨む浅茅湾を背景に、ツシマヤマメコを採り入れ、ふるさとの風景の美しさ、自然の素晴らしさを語りかけてくれます。眺める角度で表情が微妙に変化し、細かい作業を根気よく積み重ねたまさに圧巻の作品です。

隠れた対馬の名所を巡る

対馬 HOT SPOT

対馬四国八十八ヶ所

四国八十八ヶ所は、四国にある弘法大師ゆかりの札所の総称ですので皆さん聞いたことがあると思いますが、「対馬四国八十八ヶ所」を耳にしたことはありますか？私たちが住んでいる対馬にも八十八ヶ所が存在します。

空海伝説は全国に数多く残っていますが、対馬にも、遣唐使として唐に留学した空海が日本に帰国する際、日本の玄関ともいえる対馬に立ち寄ったと言われており、また1番札所である金剛院にある木像は、対馬に来た空海が水面に写った自分自身を見て彫ったとされています。

対馬四国八十八ヶ所の各町別札所数は、厳原町に40ヶ所、美津島町に12ヶ所、豊玉町に5ヶ所、峰町に2ヶ所、上県町に19ヶ所、上対馬町に10ヶ所となっています。

その他にも、今、対馬CATVでも紹介されている豆酸や写真にも紹介している88番札所の裏山を囲むように設けられているものなど30分から1時間半程度の短時間で廻ること

のできる八十八ヶ所も島内にくつかりあります。

暖かくなってくるこれからの時期に、健康づくりとして、また地域の歴史再発見のため、身近にある八十八ヶ所を歩いてみてはいかがでしょうか。

対馬市役所観光物産推進本部

0920(53)6111

メールアドレス

asightseeing@city-tsushima.jp



88番札所 薬師如来（厳原町久田 寿福院）